（様式第11号）

活　動　計　画　書

(記載例)

令和○年○月○日策定
（令和○年○月○日改訂）

活動組織名

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 組織名

○○の森保全の会（活動組織の正式名称）

２．所在地

　○○県○○市○○１－２－１（団体の所在地、もしくは代表者の住所）

1. 地区の概要、取組の背景等

＊地区の森林及び周辺の状況、取組を始めることになった背景等を簡潔に記載する。(5～10行程度)・・・・

　　（例：谷津田とその周辺の斜面林からなる地区で、活動予定の森林は昭和30年代に植えられたスギ林にモウソウ竹が侵入して密生し、スギの一部は枯れてしまっている。活動する森林の隣接地には自治会館があり地域住民のいこいの場所でもあることから、周辺の景観を保全するため、住民を中心とした会を○○年に立ち上げ活動を開始した。）

４．取組概要

　＊取り組もうとしている内容を網羅し、その目的、内容などを簡潔に記載する。

　　(10行程度、交付金で実施する活動以外に実施している取組があれば併せて記載する)

以下例

○エリア１（地域環境保全タイプ・里山林）

スギがまとまって残っているため、徐間伐等の整備を行い人工林として管理を行う。

・倒木の処理及び薮の刈払い（１年目）

・不良木の整理、藪の刈り払い（２年目～３年目）

○エリア２（地域環境保全タイプ・竹林）

スギ林にモウソウ竹が侵入した森林のため、侵入竹を駆除し、針広混交林に誘導する。

・枯れ竹、林内作業路の整備（１年目）

・竹の伐採、集積・整理（２年目）

・再生してくる竹の伐採と広葉樹植栽（３年目）

交付金外の取組

・伐採した竹を利用した竹細工教室の開催

・エリア２に果樹を植栽し、伐採した木材を利用した遊具を作成する。

５．構成員の概要

　＊構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

　＊様式第10号別紙の参加同意書（構成員一覧表）に代わるものではない。

　構成員の具体的氏名を入れないこと。

６．地元の自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地域の活性化への寄与

＊できるだけ具体的に記載する。７．年度別スケジュール（継続2年目のケーズ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 取組概要 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| １．活動推進費 | ・活動森林全体の状況調査 |  |  |
| ２．実践活動 |  |  |  |
| A-1地域環境保全タイプ（里山林保全） | 倒木の処理薮の刈払い | 0.5ha | 不良木の伐採・整理刈払い | 0.5ha | 不良木の伐採・整理、刈払い(エリア１)再生竹の伐採広葉樹植栽(エリア2) | 1.9ha |
| A-2地域環境保全タイプ（侵入竹除去、竹林整備） | 枯れ竹の整理林内作業路の整備 | 1.4ha | 竹の伐採・集積・整理 | 1.4ha |  | ha |
| B 森林資源利用タイプ |  | ha |  | ha |  | ha |
| C 森林機能強化タイプ |  | ha |  | ha |  | ha |
|  | m |  | m |  | m |
| ２－１．間伐等（除伐・枝打ちを含む）実施面積 |  | ha | 除伐（不良木） | 0.5ha | 除伐（不良木） | 0.5ha |
| ２－２．活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていなかったと考えられる森林を整備する面積 |  | 1.4ha |  | ha |  | ha |
| 　D 関係人口創出・維持タイプ |  |  |  |
| ３．資機材・施設の整備 | チェーンソー　１台刈り払い機　　１台 | チルホール　　１組 |  |

※１　延長には森林調査・見回りを除く。

※２　２のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※３　２－２については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する森林の整備を実施している場合はその森林の面積を除外し、その年度に新たに該当する森林の整備を実施する面積を記載する。

※４　２のDの関係人口創出・維持タイプについては、年度ごとの実施内容を記載する。

※５　2年目以降の申請の場合は実施済み年度の数量（面積・延長等）を実績の値に修正すること。

※１　延長には森林調査・見回りを除く。

※２　２のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※３　２－２については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する森林の整備を実施している場合はその森林の面積を除外し、その年度に新たに該当する森林の整備を実施する面積を記載する。

※４　２のDの関係人口創出・維持タイプについては、年度ごとの実施内容を記載する。

※５　2年目以降の申請の場合は実施済み年度の数量（面積・延長等）を実績の値に修正すること。

８．活動の目標と活動結果を測定するためのモニタリング方法（地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| タイプ名 | 目　標 | モニタリング方法 |
| 地域環境保全・里山林（エリア１） | 整備された明るいスギの人工林（相対幹距比○○％） | 相対幹距比調査 |
| 地域環境保全・竹林（エリア２） | 侵入した竹を駆除した針広混交林（竹の本数を0本） | 竹の本数調査 |
| 地域環境保全・里山林（エリア３） | 整備された明るい雑木林（希少種○○を○○増やす） | 希少種○○の個体数調査 |

（注）目標の設定及びモニタリング方法の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。

※数値目標設定済みの場合は目標欄にカッコ書きで記載。新規申請の団体は数値目標の記載不要

９．年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　度 | 講習の名称 | 講習の内容 |
| ２年度 | 作業の基礎講習会 | 作業実施方法、森林作業の留意点、緊急時の対応方法、 |
| ３年度 | チェーンソー講習会 | チェーンソー操作の基本、危険事例、伐採講習 |
| ４年度 | 広葉樹伐採研修会 | 広葉樹に特化した伐採講習 |

１０．安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

・会員及び一般参加者には例外なくヘルメットを着用させる。

・チェーンソーを操作するものは、ゴーグル、防護具(チャップス)などを着用する。

・チェーンソーを使用する活動の会員は、○○保険に加入し、それ以外の会員は○○保険に加入する。

１１．４年目以降の活動（森林管理）計画

４年目以降も○○の森の保全管理を継続して実施する。また、活動森林を利用した自然観察会や炊き出し会などの活動も実施して、整備した森林の維持活動に近隣の住民の幅広い協力を求め、地域の里山を維持・発展を図る。

１２．計画図（協定の対象としている区域の図面）

　※位置図　道路地図、ネット地図を利用して、実施箇所がわかる図面を作成する。

　※計画図　活動計画図の作成方法（別紙）を参照して作成する。

　　位置図、計画図　別添のとおり

１３．持続性向上に向けた取組

＊活動する人材の育成や確保、活動経費の確保など、活動組織が本活動計画終了後も活動を継続していくために行おうとする取り組みについて記載する。

１４．その他

（１）写真

　　　※計画書の記載内容に即して現地の状況がわかる写真を添付する。

（２）収入

　　　＊会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入を記載すること。

（３）委託

＊取組を委託する場合は、次を記載すること。

|  |
| --- |
| 活動計画における取組についての委託 |
| ・委託機関名　　・連絡先（電話番号等）・委託時期　　・委託内容（委託する区域の林小班、委託業務の内容（面積、作業の内容）等）　　・委託金額　　 |

※活動全てを委託することはできない。